

花水木のキャラクター
「ミズキちゃん」



クイズ

6月議会で開催された市議会コンサートで演奏された楽器は、電子ピアノと何という楽器でしょうか？

応募資格
(市内在住の市民の方、
年齢制限はありません)

※答えを書いてはがきに
住所・氏名・年齢を記入
抽選で5名様に図書
カード1000円分プレゼント!

当選者の発表は賞品の
発送を以てかえさせて
いただきます。

〒773-8501
小松島市横須町1番1号
小松島市議会事務局 宛
(締切日8月31日消印有効)

前回の答え ②約61歳

小松島市 議会だより Seven teen 99号

議長 出口憲二郎議員
副議長 井村 保裕議員
監査委員 安平 剛之議員

4常任委員会と議運・4特別委員会が新体制
議会報告会で寄せられた意見の行政側の回答を掲載

24年度政務調査費を公開



市議会コンサートを開催

6月17日(月)6月議会一般質問初日の本会議場で、昼の休憩時間を利用した「市議会コンサート」を開催しましたところ、たくさんの市民の方に議場に來場いただきました。
久米見奈子さんらによるマリンバの軽快な演奏が議場内に響きわたりました。

市議会コンサートの出演者を募集しています

次回からの市議会コンサートは、9月・12月・3月に開催予定です。
参加のお問い合わせは、小松島市議会事務局まで TEL 32・1359

委員会構成

委員長
副委員長

総務常任委員会

所管部門は、総務部、運輸部、水道部、会計課、消防に関する事項。

北野恒男
前川英貴
天羽篤

井内善治
佐木善治
石原正裕
安原剛之
吉平勝之
米崎賢治

予算決算常任委員会

所管部門は、予算、決算、その他財政に関する事項。

佐野善作
石原正裕
天羽篤
井内治
宮崎進

北野恒男
安村剛裕
井本保之
杉本勝裕
吉見之勝
片田真弓
前川英三
廣田和治
米崎賢治

4 常任委員会 体制に再編

6月定例会において、総務産業常任委員会を総務常任委員会と産業建設常任委員会に再編しました。

産業建設常任委員会

所管部門は、産業建設部、農業委員会に関する事項。

武田清
米崎賢治
天羽篤
井内治
井田和治

宮崎剛之
安村保裕
井本勝裕
杉本真弓
吉見之勝
片田和治
廣田和治
米崎賢治

文教厚生常任委員会

所管部門は、市民環境部、保健福祉部、教育委員会に関する事項。

石原清裕
武田恒男
北野恒男
井内保裕
片田和治
前川英貴
宮崎善作
廣田和治
佐野善作

議会改革特別委員会

安原勝之
吉平勝之
佐野善作
石原正裕
井内保裕
片田和治
廣田和治
米崎賢治

議会広報特別委員会

天羽篤
廣田和治
佐野善作
杉本真弓
吉見之勝
前川英貴
片田和治
米崎賢治

議会運営委員会

石原正裕
北野恒男
天羽篤
佐野善作
井内保裕
出村和治
井田和治

人権啓発特別委員会

石原正裕
米崎賢治
井内保裕
宮崎善治
大木清
武田和治
前川英貴

市民の足を守る特別委員会

杉本善作
佐野恒男
天羽篤
武田清
北野恒男
廣田和治
米崎賢治

市民の負託に 決意新た

新体制決定

出口憲一郎 議長
井村保裕 副議長
安平剛之 監査委員

平成25年6月定例会の冒頭、正副議長の選出、各委員会の構成、監査委員の選任が行われ、新体制が決定した。



議長 出口憲一郎

地の利は人の和に如かず

小松島市議会議長就任に当たり、ごあいさつ申し上げます。

地方分権の推進により、地方自治体の自主性・自律性がより一層要求されるようになり、二元代表制の一翼を担う議会として、これからの重要な役割は監視機能と政策形成機能であると考えます。

「天の時は地の利に如かず。地の利は人の和に如かず。孟子」と申します。議員一人一人が心を合わせ、住んでよかった小松島「住んでみたい小松島」実現のために頑張ってくださいと思います。市民皆様の御指導、御鞭撻のほどをよろしくお願いいたします。



副議長 井村保裕

さらなる議会改革の推進

小松島市にとっては、7年間にわたる集中改革プランにより財政的に危機的状況は脱しましたが、まだまだ予断を許さず状況ではありません。また、本市の課題として、防災対策や新中学校建設・火葬場改築・今後の都市計画等思いっくだけでも切りがありません。これからも議会改革や行政



監査委員 安平剛之

補助金の活用状況
をチェック

このたび、監査委員に選任されました。私はその重責に対し、気を引き締めて取り組んでいきたいと考えています。

監査委員の仕事は、自治体の執行する業務及び補助金の名目で財務援助

政改革を推進し、その成果が本市の更なる躍進につながるよう活動しなければなりません。このたび副議長に選任されまして、改めてその責任の重さを感じ、決意を新たにいたしました。大変努力でございますが、議長を補佐し全力で取り組んでまいりますので、今後とも御指導よろしくお願いたします。

を行っている団体の事務について、その手続が適正であるか、業務存続が適当であるかなどといった点について監査審査・検査を行うものであります。

その上で、議会の人は、執行される事務事業が国・県の補助金を有効に活用されているかどうかをチェックしてまいります。

その他の委員等

- 徳島県後期高齢者医療広域連合議会議員 出口憲一郎
- 小松島市外三町村衛生組合議会議員 出口憲一郎
- 出口憲一郎
- 出口憲一郎
- 佐野善作
- 北野恒男
- 吉見勝之
- 前川英貴
- 廣田和治
- 米崎賢治
- 議会議長推薦農業委員 武田清

常任委員会報告

総務常任委員会

北野 恒男 委員長

職員給料平均4.74%減額、市長、副市長、教育長も減額率変更

本委員会には議案3件陳情2件が付託され、審査の結果、議案3件については、採決の結果いずれも原案のとおり可決した。陳情については、後記のとおり。

① 議案第52号 小松島市 新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

「新型インフルエンザ等対策特別措置法」の規定により、「新型インフルエンザ等緊急事態宣言」がなされた場合、小松島市インフルエンザ等

② 議案第53号 小松島市 火災予防条例の一部を改正する条例について

消防法施行令及び建築基準法施行令の一部改正に伴い、これらの法令から引用する条文の、整合性を図るための改正を行う。

③ 議案第60号 小松島市 職員の給与の臨時特例に関する条例について

一般職員の給与を7月から来年度3月まで、

100分の9から100分の2、平均4.74%減額、市長は100分の20を100分の23に、副市長及び教育長は、100分の10を100分の12に減額率を変更する。

④ 陳情第2号「地方財政の充実・強化を求める意見書の採択を求める」件については、挙手採決の結果、挙手多数で採択した。

⑤ 陳情第3号「核兵器



総務常任委員会

全面禁止条約の締結に関する一件については、挙手採決の結果、挙手少数で不採択と決した。

案4件が、産業建設委員会に付託された。行政からの説明の後、委員会で慎重審査を行い、原案のとおり可決した。

可決した主な内容は、次のとおり。

「最大クラス

の津波浸水想定」が公表され、建設中の工事で、強固な防水構造を軸としたものにするため、設計変更が生じたとの説明があつた。

産業建設常任委員会

武田 清 委員長

金磯南雨水ポンプ場

動くのは9月末予定

金磯町字土手町に新設「金磯南雨水ポンプ場」の工事請負契約の変更議



完成間近な金磯南雨水ポンプ場

「津波避難タワー」設置工事」(和田島ニュータウンにモデル的事業として約100名収容可能なタワーを設置)

「配水管布設替・老朽管更新工事」9165万9千円

文教厚生常任委員会

杉本 勝 委員長

小松島市子ども子育て会議条例

についての議案可決

概要 子ども・子育て支援法の規定に基づき、子ども・子育て支援事業計画「への子育て当事者の意見の反映を初め、本市における子ども・子育て支援施策を地域の子ども及び子育て家庭の実情を踏まえて実施することを担保する上で重要な役割を果たす」小松島市子ども・子育て会議を設置するために必要な事項を定めるもの。

◆所管事項での質問

問 小・中学校通学路の安全対策について、県内は安全対策77%が完了とある。小松島市は、安全対策を点検しているか。

答 昨年度夏休み中に警察、県土整備局、都市

整備課と学校課、それから学校関係者が市内の危険箇所について、53カ所点検を行っている。点検箇所については、国、県より11月末までに報告せよと指示連絡があり、警察、学校課、都市整備、県土整備局の担当者が集まり、市教委の方で一つ一つ確認しながら進捗状況について報告する。

問 小松島新中学校の場所が決まり、28年4月に開校なので、通学路を点検して、新しい通学路ができたなら、初めはよく事故が起こりやすいので、今から十分に準備してほしい。

答 通学路を含めたソフト面についても、両校

予算決算常任委員会

佐野 善作 委員長

一般会計6月補正予算 肉付け予算

4億9177万円を審議・可決

議案第50号は、3月当初予算が市長選の関係で骨格予算であったので、大型の補正予算となつた。主な事業は次のとおり。

「社会資本整備

「津波避難タワー」設置工事」(和田島ニュータウンにモデル的事業として約100名収容可能なタワーを設置)

「配水管布設替・老朽管更新工事」9165万9千円

「中田浄水場基本設計委託料」(安全な水をより安定的に供給するための中田浄水場を復活)

「水道事業 会計補正予算を可決

「犬・猫不妊手術助成」(1件5千円を補助) 15万5千円

「高規格救急車購入」52万6千円

「防犯・救急無線 デジタル化整備」6222万4千円



津波避難タワー

「子ども・子育て支援計画策定」278万7千円

発言者名	件名
廣田 和三	1. 各保育所・幼稚園・学校・子ども広場等の屋外遊具などについて
	2. 小松島市の附属機関について
	3. 防災対策について
	4. 農地の宅地並み課税について
	5. 救急業務について
前川 英貴	1. 地方公務員の給与改定について
	2. 防災無線について
武田 清	1. 四国横断自動車道(高速)について
	2. 芝生川の護岸の改修について
	3. 県道小松島・佐那河内線の安全対策、歩道の整備について
	4. 防災対策について
片田 真弓	1. 徳島市との合併協議について
	2. 生活保護について
	3. 子ども・子育て支援について
天羽 篤	1. 都市計画マスタープランについて
	2. 新中学校建設について
	3. 火葬場建設について
	4. 非正規職員について
	5. 開発許可にかかる公共施設の同意について
杉本 勝	1. 市営グラウンドについて
	2. 葬斎場について
	3. 新しい事業について
吉見 勝之	1. 地域活動協議会による市政改革について
	2. 教育行政について
	3. 市役所の清掃と来庁者への挨拶について
	4. 道路整備について
井内 建治	1. 濱田市長の政治姿勢について
北野 恒男	1. 勝浦川の破壊防止対策について
	2. 市民マラソンについて
安平 剛之	1. 消防署体制について
	2. 津波避難タワー建設について
	3. 都市計画マスタープラン(素案)について

子ども広場にある屋外遊具が老朽化で危険な状態である

新風はなみずき 廣田 和三 議員

答 早急な修理または撤去、随時安全確認を行う



地方公務員の給与改定に関する取り扱いは

新生クラブ 前川 英貴 議員

答 国の要請に基づいた一定の対応が必要である



廣田 子ども広場・保育所・幼稚園に設置されている屋外遊具が、老朽化で一部に危険な状態の遊具がある。屋外遊具と樹木などの公園管理について、担当課の対応は。

総務課長 24年度に委嘱を行った46の附属機関のうち16の委員会が該当する。今後も女性委員の割合を増やすよう指針の周知徹底を図る。

廣田 水難救助隊の発足を伴い、消防と地元漁協、船舶関係者との支援協定は結んでいるのか。

前川 国は東日本大震災の復興財源として、国家公務員の給与減額を、平成24年度から2年間行つたことに歩調を合わせるよう、地方側に対しても給与減額を要請してきた。その背景には、国が直接各自治体の職員の給与を減額できないため、前もって地方交付税を減額という「兵糧攻め」を行った。

財政課長 地方公務員給与の削減を前提とした地方交付税削減の代替措置として、緊急防災・減災事業費と地域元気づくり事業費が計上されている。

前川 昨年度より整備を進めている防災行政無線を、本庁舎にも、拡声局を1基設置する、としている。本庁舎は、耐震診断において、耐震改修が必要な数値が出たと聞いているが、こういった状況で大規模な地震が発生した場合、せっかくの拡声局が使えないという事態にならないか。

都市整備課長 管理している各現場の再確認をして早急に改善に努める。

学校課長 点検が不十分であった。修理が必要なものとは早急に修理をする、修理と撤去に努める。

海抜表示の取り組み状況は

前川 国は東日本大震災の復興財源として、国家公務員の給与減額を、平成24年度から2年間行つたことに歩調を合わせるよう、地方側に対しても給与減額を要請してきた。その背景には、国が直接各自治体の職員の給与を減額できないため、前もって地方交付税を減額という「兵糧攻め」を行った。

市長 これまで地方は、厳しい財政状況等を踏まえ、国に先んじて人員の削減や給与の減額を断行し、さまざまな行政改革に取り組んできた。しかしながら、地方交付税の削減という現状がある中で、行政サービスを低下させることなく、その財源不足分を、職員給与の減額をもって手当てすることとは、本意ではないもの、やむを得ない判断としての、理解していただきた。

総務課長 本庁舎は、耐震改修が必要な数値が出ており、26年度から工事に取組む予定である。

副市長 遊具等の点検確認を関係する各担当課に徹底し、市民の皆様へ安全・安心して御利用いただけるようなお一層努める。

廣田 海抜表示の取り組み状況は。

前川 救急車の不適切利用の割合は。

前川 国は、地方財政計画の歳出に特別枠を設定して、地方公務員の給与措置を講じるとしているが、どのような財源が確保

前川 国が地方公務員の給与減額を強制することは、到底許されるものではない。

前川 地震によって拡声局が壊れてしまうようでは本来の目的が達成できなくなってしまうので、耐震化についても積極的に今後とも取り組んでいただきたい。

女性委員を増やせ

廣田 市の附属機関で女性委員が3割を超す委員会は幾らあるのか。

消防次長 救急を必要とする方が躊躇する可能性がある。全国的に自治体も検討しているが、救急と消防は行政の責務であ

前川 国は、地方財政計画の歳出に特別枠を設定して、地方公務員の給与措置を講じるとしているが、どのような財源が確保

前川 国が地方公務員の給与減額を強制することは、到底許されるものではない。

前川 地震によって拡声局が壊れてしまうようでは本来の目的が達成できなくなってしまうので、耐震化についても積極的に今後とも取り組んでいただきたい。

建設中の高速道路を津波が来たときの避難場所に

新生クラブ 武田 清議員

答 地域に合った場所を定め、国と協議していく

武田 盛り土で高速道路ができるが、避難場所として、使用できないか。地震による津波が発生したとき、横須野や国道55号などから、前原町、田浦町、新居見町へかけて盛り土の高速道路へ逃げられるようにすべきた。

産業建設部長 沿岸の小松島市は、市街地のほぼ全域で浸水が想定されている。地域の実情に合った場所を定め、高速道路管理者である国と協議していく。

児安小から西へ約1キロ 高速道路橋の交通安全を
県道小松島、佐那

河内線と四国横断自動車道として建設される田浦橋との交差付近は通学路であり、高速道路と並行する市道田浦29号線は、一日平均、車が約4000台、自転車約2000台、歩行者約1200人と、市道幅員2.3メートルの所では大変危険である。安全対策は、**都市整備課長** 交差点は、田浦橋の工事、側道工事、市道の迂回路工事、埋蔵文化財の発掘調査など、工事等が重なるようになったため、御指摘のように周辺住民等に対する配慮が必要で、国とともに交通安全対策に努めたい。



答 話し合いの上で考えていく

片田 徳島市との合併となれば、吸収合併は明らかであり、伝統や文化を守り、自然を生かした地域産業を壊し、地域に定着したきめ細やかな住民サービスができないなどとはならないか。また、市民一人一人が安心して暮らすことのできるのが地方自治体本来の姿であり、市民の理解を得ることが不可欠では。

市長 広域連携事業に取り組みようになり、徳島東部地域の新たな都市のあり方を協議する場として会議に参加し、メリツト・デメリツトも寄せて議論していく。

武田 芝生川にJ.R牟岐線の鉄橋あたりと新居見城跡近くに堰がある。川の護岸は全部が整備されていない。また、柳や木の太さが、大が抱え切れない雑木がある。台風で枝木が折れ、川をせき止め、水があふれるおそれがある。市民の安全な生活を確保すべきた。

都市整備課長 河川管理者の県と話し合ったところ、今年度から両箇所とも下流側より護岸改修工事が行われる予定。柳の木等は伐採・移植など再度要望する。

徳島市との合併協議について

日本共産党 片田 真弓議員

答 話し合いの上で考えていく

片田 生活保護法改悪案と生活困窮者自立支援法案が可決され、参議院に送られた。今までは口頭でも窓口申請ができていたのが、申請書の提出を義務づけ、窓口での申請をはねつけることになった。本市での受給者数、保護率はどれだけのものか。

生活福祉課長 本市の実態は平成24年4月末で、840人、保護率2%となっている。

片田 生活保護基準の引き下げは、最低賃金の引き下げや、福祉・医療・医療費助成制度について

片田 子どもの医療費助成制度が県下で、中学校修了まで3市12町1村もあるが、本市ではどうか。

健康増進課長 受給年齢の拡大は、重要な課題であるが、市町村により違



教育への改悪につながる。本市で他制度への影響はあるのか。

生活福祉課長 個人住民税の非課税限度額、医療保険の自己負担限度額の軽減、就学援助、保育料の免除など、多方面にある。今後、国の対応により考える。

片田 現在の設計案では、1階の床レベルをTP3.6メートルにかさ上げする。

老朽化した火葬場の改築計画は

日本共産党 天羽 篤議員

答 完成目標は平成29年度

天羽 火葬場の改築はPFI方式が白紙撤回され、宙に浮いている。プロジェクトチームを立ち上げ取り組むとのことだが、完成までの行程を伺う。

市民生活課長 市公共施設のあり方検討委員会に

おいて、入札方式により、拡張した敷地に平成29年度を目標に建てかえ完了する基本方針を決定した。

天羽 現在の待合室内部の改装ができないか。



火葬場 待合室



建設が進む四国横断自動車道。今後、盛り土の工事となる。(前原町)

天羽 市職員の37%を非正規職員が占めている。正規職員が占めている。長年にわたり、正規職員

市民生活課長 地盤を何メートルかさ上げするかは現時点では未定だ。

天羽 以前の計画では地盤をかさ上げて、田野川堤防の高さにすることになっていたがどうなのか。

天羽 新中学校を赤石グラウンドに建設することには反対してきた。同地と決定した今、やむを得ず、安全重視の立場から津波浸水対策の取り組み

保健衛生センター所長 清掃の徹底と修繕が必要な箇所の補修を行っており、待合室の使用に對し支障があるとは考えていない。

片田 保育所の保育料は1人目は全額、2人目は半額、3人目以降は無料

天羽 開発を計画していた業者に対し、市が排水同意をしなければは裁量権の乱用との高裁判決があった。今後は地域住民の反対のみで不同意にするやり方は改めるのか。

産業建設部長 市の同意に際しては、個別に検討

いがある。自治体ごとの助成内容の異なる制度を整備していくよう国に求める。

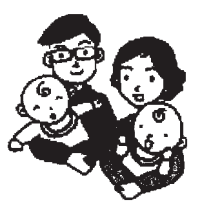
保育料について

片田 保育所の保育料は1人目は全額、2人目は半額、3人目以降は無料

教育政策課長 国の制度設計のもと実施されれば本市でも検討するが、国の制度が固まる前に市単独で無償化は困難である。

だ。幼稚園でも第3子は無料にできないか。

教育政策課長 国の制度設計のもと実施されれば本市でも検討するが、国の制度が固まる前に市単独で無償化は困難である。



天羽 開発を計画していた業者に対し、市が排水同意をしなければは裁量権の乱用との高裁判決があった。今後は地域住民の反対のみで不同意にするやり方は改めるのか。

産業建設部長 市の同意に際しては、個別に検討

市営グラウンド防災公園 事業計画は

新生クラブ 杉本 勝議員



答 事業計画を策定する

杉本 市営グラウンド防災公園事業計画の流れについて説明があったが、4月8日に地権者と周辺の方へ、どのような説明をしたのか。

総務課長 防災公園として総合グラウンド一帯を整備するため、地域周辺の方々の意見も伺い、事業の内容に反映させ、地域、市民に事業説明を行っていく。

葬斎場建設 について

杉本 葬斎場が古く、厳しいにおいと、3時間も時間を要するので、検討し早急に建設してほしい。

市民生活課長 平成29年度を目標に計画している。

新規事業について

杉本 小松島市の商店街は歩くと暗く、シャツター街である。

二条通、かすみ町等は、自転車道のライトでも暗く、町を明るく活性化して、すばらしい商店街に、そして新しい小松島市をつくるため、商店街事業に力を入れて取り組む必要があると思うがどうか。

産業振興課長 本年度の新規事業で、中心市街地空き店舗対策事業を実施している。

その進捗状況と今後のスケジュールについて説明させていただくと、本事業は、国の緊急雇用創出事業を活用し、本市の中心市街地商店街の状況を調査するもので、空き店舗や営業店舗数、所有

補助金を地域活動協議会に 集約すればどうか

新生クラブ 吉見 勝之議員



答 地域の自主的な取り組みが必要

吉見 大阪市のように、補助金を地域活動協議会にまとめて、使い道を話し合いで決めればどうか。

総務課長 利点は、地域の実情に合った活動ができる、限られた財源や人材の有効活用が可能となる。課題は、補助率が2分の1のため、活動の自主財源が必要。

教育現場の職員の 駐車料金は

吉見 保、幼、小・中学校の職員などの駐車料金は、

総務課長 平成25年4月から保、幼、小・中学校などを含めたすべての出

長野県上田市の ように完全米飯 給食に

吉見 米飯は白米でなく、血液を柔らかくするGABA(天然アミノ酸の一種)が含まれる発芽玄米を10%以上加えている。このようなことを検討しては。

総務課長 委託先に清掃場所を指定して実施が可能。指摘の箇所は順次対応する。

来庁者への あいさつについて

吉見 上司は褒めて部下を育てるべきではないか。

秘書人事課長 それも一

者への意向調査を、今後の活性化策につなげるために行うもので、広報等で十分周知を図りながら、適切な事業推進を図っていく。

杉本 小松島港の開発ができていないことに懸念をしている。交流センターを核として、にぎわいの創出、またイベント

等を多く開催、交流センター海岸側に、本港地区の活用策を計画してほしい。

産業振興課長 市では、本港地区等周辺活性化事業として、地域コミュニティの拠点、みなと交流センターkocoroを核とした、にぎわい創出事業に取り組んでいる。



「住んでよかった小松島」とは

市民クラブ 井内 建治議員



答 夢と誇りを持てる、住んでよかったと実感できる小松島市をつくる

井内 市長がよく多用している「住んでよかった小松島」とは何を指すのか。

実に発展している。赤石港には、四国最大級のクレーンが設置されている。自然豊かで生活環境が整ったこの小松島市民の皆さんが、誇りを持ち、住んでよかったと実感していたために、「ま

ちづくり、ものづくり、人づくり」を進めていくことをお約束する。

少子対策として保育料をすべて無償にすべき

井内 保育所、幼稚園の

つの方法かと思う。さらなる接遇の研修の充実に向けて取り組む。

道路整備について 通称、自衛隊前交差点は大型バスが左側通行ができない。

都市整備課長 車道分離標であるラバーポールは

安全対策として設置した。ラバーポールの除去、道路幅拡張は、道路の線型の変更など根本的な対策が必要。



自衛隊前交差点

選挙公約の実行は

井内 市長の選挙公約である竹材利用バイオマス企業誘致計画は、現在どこまで進んでいるのか。

産業振興課長 技術開発が進んでいるが、まだ企業化にはコストが高く、採算性にはほど遠い。今後、事業化になるか否かを検討していく。

が、その内容を市民に逐次報告すべきではないか。

市長 少子・高齢化、消防、救急、防災、医療、行財政等の項目があり、合併も含んでいる。会議内容はその都度市民にお知らせする。

税の負担 市独自で判断すべき

井内 市街化区域内の農地固定資産課税は、幾ら法で定められたとはいえ、非常に高い。減免補てん措置を講じるべきではないか。

市長 現在の本市の財政状況を考えると、難しい。

合併問題 市民に通知の仕方は

井内 新拠点都市創造会議に本市は参加し、討議内容は合併を主体としている。議論するのはよい



発達障害者総合支援ゾーン

市民マラソン大会を開催しては

市民クラブ 北野 恒男 議員

答 十分検討していきたい

北野 健康への意識を高め、健康づくりの一環として市民マラソンを開催しては。

生涯学習課長

本市は、コース設定が難しい地形のため、開催は難しい。



ランニングで心と体に貯健!

ニングは、健康の源である。10キロ程度で設定すれば

市長 課題を十分検討する。

北野 スポーツ振興の取り組みは。

教育長 子どもから高齢者に至るまで、だれもが気軽に参加しやすい企画等、適正な指導により、豊かな人間形成の育成のためにも、関係機関と連携し、スポーツ振興に努めていく。

事業の進捗状況は。



増水により損壊した勝浦川の擁壁

都市整備課長 用地買収面積の確定作業や、建物等の補償調査を進めている。

北野 牟岐線の鉄橋より上流の工事完成時期は。

北野 勝浦川の堤防防止対策は

田浦町西原地区の

消防職員定数条例の見直しを

みらい政策クラブ 安平 剛之 議員

答 協議検討していく

安平 36年前にできた小松島市職員定数条例で消防職員定数を36名と定めているが、現在この条例の見直しを議論しているのか。

消防長 南海トラフ巨大地震への消防防災体制の対応を含め、消防力の基幹となる施設・装備・人員について包括的に協議検討し、拡充を図っていく。

安平 総合計画の重点目標の中に、救命救命体制の充実を図るとある。これは特に重要な市民サービスの一つと考えるが、この点における消防署内の体制整備



消防署の勤務交替式

備を考える中で、定数の増員に関しては、これまでの状況並びに今後の推移等を十分見きわめた上で対処する。



安平 避難タワー建設の手順は、まず地域防災

副市長 消防救急業務における消防署内の体制整備

安平 平成23年6月定例

総務部長 私もそうであること認識している。また、防災計画の見直しがおこなわれていることも率直に認めるが、今年度防災計画の見直しも行いながら、国の予算の関係で、少なくとも一カ所は避難タワーを建設したい。

都市整備課長 本年4月より、河川災害復旧工事として、約270メートルの工事に取掛かっており、10月ごろに完成する。

北野 勝浦川河川整備計画の策定状況は。

都市整備課長 県では、平成21年1月に策定した勝浦川水系河川整備基本方針に基づき、今後、お

おむね20年から30年間の河川整備の具体的な目標や実施内容を定める、河川整備計画の策定に向けた作業を進めている。

会において、市所有の高塚地区最終処分場跡地に盛り土を行い、津波一時避難場所になれば、遊休土地の活用になり、メガソーラ事業を行えば固定

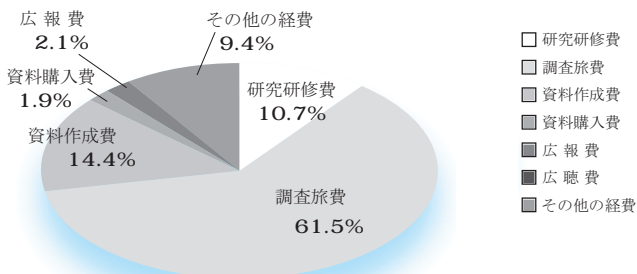
資産税も入ってくるという。現時点では盛り土による避難施設等への転用は困難なものと考えている。

平成24年度政務調査費支出内訳

(単位:円)

会 派 名	交付額	支 出 科 目						支出総額	返納額
		研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	その他の経費		
新生クラブ	354,066	0	0	214,650	0	0	28,368	243,018	111,048
市民クラブ	1,911,558	220,650	1,254,126	102,867	0	0	182,884	1,760,527	151,031
みらい政策クラブ	837,522	110,250	489,916	79,015	0	0	46,571	725,752	111,770
日本共産党 小松島市議団	400,000	13,125	180,320	5,858	55,680	68,000	31,520	354,503	45,497
公 明 党	240,000	0	0	0	0	0	0	0	240,000
桜 ク ラ ブ	40,000	0	0	0	0	0	4,666	4,666	35,334
みのりの会	40,000	0	0	5,980	0	0	4,666	10,646	29,354
東 風 会	63,603	0	0	55,235	0	0	4,728	59,963	3,640
清 進 ク ラ ブ	40,000	0	31,300	0	0	0	0	31,300	8,700
改 革 ク ラ ブ	40,000	0	31,300	0	6,575	0	0	37,875	2,125
合 計	3,966,749	344,025	1,986,962	463,605	62,255	68,000	303,403	3,228,250	738,499

平成24年5月25日、清進クラブ、改革クラブが市民クラブに合併、平成25年2月1日、市民クラブから新生クラブが分離されました。



政務活動・視察

テーマ 通年会期制 通年会期制・議員定数と報酬

(四日市市議会)



(議会改革集中講座 in 博多)



陳情第3号	「核兵器全面禁止条約の締結に関する」件について 提出者 2013年国民平和実行委員会	不採択
-------	---	-----

陳情第2号	「地方財政の充実 強化を求める意見書の採択を求める」件について 提出者 自治労小松島市職員組合	採 択
提出先 内閣総理大臣、他関係大臣 小松島市議会	<p>地方交付税は地方の固有財源であり、「地方団体の独立性の強化」、「地方行政の計画的な運営」に資するものでなければならぬ。</p> <p>地方財政計画・地方交付税については、国の政策方針のもとに一方的に決するべきでなく、国と地方の十分な協議を保障した上で、そのあり方や総額について決定する必要がある。さらに、被災地の復興や子育て、医療、介護などの社会保障・環境対策などの地方自治体が担う役割は増大しており、地域の財政需要を的確に見積もり、これに見合う地方交付税総額を確保する必要がある。</p> <p>以上のことから、公共サービスの質の確保と地方自治体の安定的な行政運営を実現するため、政府に対策を求める。</p> <p>平成25年6月28日</p>	<p>意見書を 国に送付しました</p> <p>地方財政の充実・強化を求める意見書</p>

議員の賛否表（平成25年6月定例会）

議案・議提・陳情	議員名（議席番号順）															
	前川英貴	杉本勝	片田真弓	天羽篤	廣田和三	米崎賢治	井村保裕	北野恒男	吉見勝之	武田清	安平剛之	佐野善作	石原正裕	大木進	富崎欽司	井内建治
第50号 平成25年度小松島市一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第51号 平成25年度小松島市水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第52号 小松島市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第53号 小松島市火災予防条例の一部を改正する 条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第54号 小松島市子ども・子育て会議条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第55号 工事請負契約の変更について（金蔵南雨水ポンプ場建設工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第56号 工事請負契約の変更について（金蔵南雨水ポンプ場ポンプ設備工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第57号 工事請負契約の変更について（金蔵南雨水ポンプ場水処理設備工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第58号 工事請負契約の変更について（金蔵南雨水ポンプ場電気設備工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第59号 監査委員の選任の同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第60号 小松島市職員の給与の臨時特例に関する 条例の制定について	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議提第3号 地方財政の充実 強化を求める 意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議提第4号 小松島市議会の会期等に関する 条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議提第5号 小松島市議会会議規則の一部を改正する 規則について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議提第6号 市長専決処分事項の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第2号 「地方財政の充実 強化を求める意見書の採択を求める」件について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第3号 「核兵器全面禁止条約の締結に関する」件について	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

○は賛成 ●は反対 ーは欠席 ※出口憲二郎議長は採決には加わりません。

議会報告会（前期）開催

小松島市議会基本条例では、議員による議会報告会を開催すると定めています。公民館単位を基本とした12カ所の会場にて、1会場につき、2年に1回程度開催することとしています。今回は、次のとおり開催しました。

会場名	開催日時	参加人数
千代公民館	5月14日 午後7時から	13名
和田島公民館	5月15日 午後7時から	6名
芝田公民館	5月16日 午後7時から	9名



千代公民館

市民の皆様からの御意見に対する行政からの回答

〔 3月定例会および市政全般について 〕

- 市民 火葬場建設を急いでほしい。
- 行政 事業完成年度の目標を平成29年度としている。
- 市民 市街化区域農地の固定資産税が高過ぎる。
- 行政 地方税法により、市街化農地は宅地並みに課税するよう定められている。市街化区域と市街化調整区域との線引きが存在する限り宅地並み課税となる。
- 市民 新中学校の建設予定地は利便性によるものか。赤石グラウンドの代替はどうするのか。
- 行政 自転車通学が可能であること、耐震化達成目標年度平成27年度に事業完成が可能である点から、同地を選定した。金銭的な理由ではない。立江・坂野両中学校グラウンドを社会体育に使用。移転までの間は、あいさいスタジアムで一定の代替は可能である。少年野球は新開小学校グラウンドに一定の整備を行いたい。

〔 防災対策について 〕

- 市民 防災無線ができ避難指示が出て高齢者は避難が難しい。避難タワー建設はいつごろか。
- 行政 1基目を和田島ニュータウンの公園に計画している。今年度内の完成を目指している。
- 市民 津波の浸水域の表示をしてほしい。最新の浸水深が周知できてない。
- 行政 津波浸水深については、市のホームページ上で、浸水深の掲載されている徳島県のホームページにリンクするようにしている。本年度末までに完成予定の津波ハザードマップにも浸水深を重ねることで検討している。
- 市民 自主防災組織ができてない所は早急につくるべき。
- 行政 早期結成に向け、自治会、消防後援会、市職員OBなどに呼びかけていく。
- 市民 ニュータウンから坂野方面に架かる開発者が施工した橋は補強が必要だ。
- 行政 今年度中に点検を実施し、その結果に基づき適切に対応する。

その他、皆様からいただいたご要望・ご提言は議会から市長へ提出しております。

平成25年9月定例会議日程

月 日	曜	開議時刻	議 事
9月5日	木	午前10時	開会(議案提出)
9月10日	火	午前10時	質疑・一般質問
9月11日	水	午前10時	質疑・一般質問
9月12日	木	午前10時	質疑・一般質問
9月13日	金	午前10時	総務常任委員会
		午後1時	文教厚生常任委員会
9月17日	火	午前10時	産業建設常任委員会
		午後1時	予算決算常任委員会

月 日	曜	開議時刻	議 事
9月18日	水	午前9時	予算決算常任委員会
9月19日	木	午前9時	予算決算常任委員会
9月20日	金	午前9時	予算決算常任委員会
9月25日	水	午前10時	予算決算常任委員会
9月26日	木	午前10時	予算決算常任委員会
9月30日	月	午前10時	議決・散会

通年会期制導入 9月スタート

小松島市議会では、議会改革特別委員会において検討を進めてきた通年会期制導入を決定しました。地方自治法では、議会を開会するには首長の招集手続が必要です。通年会期制導入により、議会の判断で議会を開くことができます。これにより、年4回の定例会議の開会日が3月、9月、12月、5日、6月、10日となり、当日が土曜日、祝日の場合はその次の平日となります。臨時会議は随時開催できます。通年会期制のメリットは次のとおりです。

行政への
チェック機能強化
通年会期制により柔軟に本議会を開催することができ、市長の専決処分が減り、議会のチェック機能が強化される。

突発的な事案に迅速対応
震災、台風などの大規模な災害発生の際に本議会を開催し、必要な補正予算を速やかに審議することができる。

ふれあい市議会コンサート
市議会への関心が高まる
6月17日、第1回ふれあい市議会コンサートが開催されました。このコンサートは「開かれた議会」を目標に議員の発案により開催したもので、マリンバ久米見奈子さん、伴奏広田祐紀さんによる演奏がありました。表紙で当日の様子を紹介しています。70名を超える傍聴者があり、議会への関心を寄せる契機になったものと思います。次回は9月議会で開催の予定です。

○参加者からの御意見
午前の質問が11時半に打ち切られた。ふだんより30分短いのは残念。昼食時間を短くしてもいいのでは。また、参加者を増やす工夫をお願いします。

○議会からの回答
傍聴のため来庁いただいたのに早めの休憩となりました。昼休みの間に演奏するためには、どうしても準備のため早めの休憩となったものです。周知については市広報への掲載及び各議員が案内状を配布しました。

発行／小松島市議会 議長 出口憲二郎

編集／議会広報特別委員会 委員長 天羽 篤

編集委員



栗本 勝委員
米崎 眞治委員
栗本 篤委員
佐野 晋作委員
前川 賢委員
吉見 勝委員
廣田 昌男委員長
廣田 昌子委員

編集後記

1年振りに、編集委員に復帰しました。議会だよりが皆様の手元に届くまでの流れを紹介します。6月28日、編集委員会では掲載記事を決定し原稿依頼の手書きが多いがデータでの提出もありません。原稿を集め、レイアウトし、出稿完了が7月8日。この後、3回の校正を経て、7月18日に最終稿を決定。この後、19日間を議員と事務局が担当。この後、印刷に5日間、市広報誌との組み合わせに5日間かかります。そして8月5日新聞折り込みで皆様のお宅に到着となります。今回も表紙にクイズを掲載させていただきます。クイズへの回答とあわせて誌面に対する感想をお寄せください。(委員長 天羽 篤)